

小学校における「バスの乗り方教室」開催について

1. 背景と目的

マイカー社会の進展により、路線バスの乗車経験がなく、バスの乗り降りの仕方を知らない子供が増えており、このことは将来的な公共交通のバス需要の減少に繋がるとともに、市民の生活の手段としての路線バスの維持が困難となっていくことが想定されている。

本市においては、将来の利用者となる子供たちにバスに親しんでもらい乗り降りの仕方を学んでもらうために、令和元年度に南小松島小学校でバスの乗り方教室を実施した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大により、令和2年度以降については中止している状況にある。そのため、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことから、令和6年度以降にバスの乗り方教室を再開し、将来における公共交通の利用促進を図ることを目的として実施する。

2. 実施主体

小松島市地域公共交通活性化協議会（事務局：小松島市市民環境課）
路線バス事業者（徳島バス株式会社）

3. 実施予定（案）

令和6年度：南小松島小学校（時期等について調整中）

令和7年度以降：教育委員会と協議後、各小学校に依頼。

（実施時期につきましては、小学校と相談して決定予定）

4. 想定する学年

1年生・2年生くらいを想定。

5. 実施までの流れ

日程が決まれば市民環境課から関係実施主体に連絡し、実施の1カ月くらい前に担当者が小学校を訪問し、対象の学年の担任や学年主任の先生と打ち合わせを行う。

6. 実施状況

令和元年5月28日 南小松島小学校（1・2年生で実施）

7. 所要時間

約45分